

定着しない文法指導

A. 練習のさせ方の不備=力つかない

A.1. 音読筆写+パターンプラクティスが足りない。

- A.1.1. 下位技能の徹底マスターができてない
- A.1.2. できるまで覚えさせ、繰り返させたか
- A.1.3. 説明が多すぎる
- A.1.4. 例文がつまらない
- A.1.5. 文字にとらわれ、音声での練習を大事にしている。

A.2. 業者の文法教科書Forest, Be, Dual Scope, Breakthrough

- A.2.1. 1レッスンに複数項目詰めこみすぎ
- A.2.2. 1項目あたりの練習量が足りない。
- A.2.3. インプットしていないのにすぐ問題をとくことを要求
配列、順番、種類を考えぬいた定着に導くための問題になってない
- A.2.4. くだめの問題になってない

A.3. 最初にCan-Do listありきではなく、下位技能のくり返しを促す手段としての学習活動を設定していない

- A.3.1. ある下位技能（文法）が身につけてないと、競争（タスク）に勝てないようにする。生徒を困らせていないと必要感生まれません。

B. 授業がおもしろくない

B.1. 学習対象として魅力薄い

B.1.1. 全体像がわからない。

B.1.1.1. こまかく分けるだけでまとめていない。

B.1.1.2. 現象のみ詰め込ませ、言葉のうらに潜む英語特有の考え方をとりあげてない

B.1.1.3. 何ができればいいのか生徒が自己チェックできるようになっていない

B.1.1.4. なぜその形を使うのかわかっていない。

B.1.2. どのような場面でよく使うかわからない

B.2. 教師が短くきれいな言葉で説明できてない。

B.2.1. 教師自身が深く理解していないので説明くどい

B.2.2. 生徒は自分でルールを言えない。

B.3.1. 穴埋め、並び換えだけ。言いたいことが言えない。

B.3.2. 他の技能にどう役立つかわからない。

B.3.2.1. シラバスの欠如

B.3.2.2. 何のための文法学習か実感していない

B.3.3. 自力で問題がとけるようになってない

B.3. 自己有能感（できた）を育てる指導の欠如。

B.3.4. 競争がない

B.3.4.1. 自己との競争

B.3.4.2. 他者との競争

B.3.4.2.1 チームでの競争

B.3.5. 課題の設定がない

B.3.5.1. E-mail

B.3.5.2. Youtubeコメントなど

C. 下位層の生徒

C.1. できるまでつきあってない（補講一追試）

C.2. 朝自習など自学の取り組みがやすい

C.3. 自分で計画を立て、学習する力が弱い

C.3.1. くり返し思い出すことでチェックをすることをしていない。

C.3.2. 何ができて何ができないか自分でモニターできない。

C.4. 教室内での教えあいがやすい。

D. 同僚力が弱い。

D.1. 良い指導法の共有をしていない